



2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年8月14日

上場会社名 太洋物産株式会社 上場取引所 東
コード番号 9941 URL <https://www.taiyo-bussan.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松島 伸介
問合せ先責任者 (役職名) 総務部 (氏名) 井坂 勇登 TEL 03-5946-8000
ジェネラルマネージャー
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第3四半期の業績 (2023年10月1日～2024年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	14,083	△4.2	187	90.6	145	131.2	112	139.5
2023年9月期第3四半期	14,704	△3.9	98	△66.3	62	△78.8	46	△80.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	58.03	55.55
2023年9月期第3四半期	24.23	24.02

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第3四半期	8,516	810	9.2
2023年9月期	7,668	688	8.7

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 791百万円 2023年9月期 673百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年9月期	—	0.00	—		
2024年9月期 (予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の業績予想 (2023年10月1日～2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,257	16.1	220	31.9	176	34.0	139	19.9	72.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
② ①以外の会計方針の変更： 無
③ 会計上の見積りの変更： 無
④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年9月期3Q	1,934,019株	2023年9月期	1,934,019株
2024年9月期3Q	753株	2023年9月期	753株
2024年9月期3Q	1,933,266株	2023年9月期3Q	1,933,266株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5
(セグメント情報等の注記)	5
(重要な後発事象)	5

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間における我が国の経済は、経済活動が正常化に向けた動きが進み個人消費や設備投資を中心として持ち直しの動きが見られますが、継続する物価上昇による消費の減速など、国内外の見通しは依然として先行き不透明な状況が続いております。新型コロナウイルス感染症による経済活動への影響が薄れてきた一方、2022年2月から始まったロシアのウクライナ侵攻に伴う資源価格の上昇及び円安傾向の継続による市場の混乱により、経済活動について先行きが見えない状況の中、当第3四半期会計期間末を迎えました。

このような環境の下、当社の主要事業である食肉関連においては、外食産業を中心とした需要は徐々に回復しつつあるものの、売上高・取扱数量は減少となりましたが、新規アイテムの成約や、利益率の高い商材の販売を増加させることができました。次に農産品では、新規契約の取引が進み、売上高・取扱数量ともに増加となりました。中国関連の取引においては、中国向けの輸出取引・三国間取引を中心に売上高・取扱数量ともに増加となりました。輸入豚肉に関しては、中東問題による航路の迂回等を余儀なくされたことによる入船遅れ及び輸送コストの上昇や現地の供給遅延もあり、前年同期比では売上高・取扱数量ともに減少となりました。

この結果、当第3四半期累計期間における売上高は140億83百万円(前年同四半期累計期間比4.2%減)、営業利益1億87百万円(前年同四半期累計期間比90.6%増)、経常利益1億45百万円(前年同四半期累計期間比131.2%増)、四半期純利益1億12百万円(前年同四半期累計期間比139.5%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(食料部)

外食産業への販売をメインとする牛肉については、厳しい市況が続いており、売上高・取扱数量ともに減少したものの、利益の高い新規アイテムの成約等もありました。

鶏肉については、前事業年度より、輸入鶏肉の取扱量の縮小を進め、損失の回避に努めてきたことにより、売上高・取扱数量ともに減少しておりますが、新規契約先及び取扱商材の拡充により、利益は増加しました。国産鶏肉については、取引を安定的に確保するため、新規取引先の開拓に努めた結果、売上高・取扱数量ともに増加いたしました。

タイ産加工食品は、海外の生産・輸送体制の回復基調、新規商材の提案による利益率の高い商材の販売が成約できたこと等により売上高・取扱数量は増加したものの、利益は減少となりました。

この結果、当第3四半期累計期間での売上高は、50億73百万円(前年同四半期累計期間比16.7%減)、セグメント利益は、1億35百万円(前年同四半期累計期間比55.7%増)となりました。

(営業開拓部)

農産品は、主に蕎麦について、新規契約の取引の成約により利益率の高い商品の販売を増加させることができたため、売上高・取扱量を伸ばし、利益を増加させることができました。

化学品は、価格競争や為替相場の変動により前年以上に商品となる原料を確保することができず、他の新規商材を開拓しているものの、取引量はほぼ横ばいとなりました。

中国関連におきましては、中国向け自動車販売や中国のネット事業者向け化粧雑貨等の販売が順調に推移しており、中国市場の潜在的需要の高さを背景に取扱商品を着実に増加させることができ、売上高・取扱数量ともに増加となりました。

この結果、当第3四半期累計期間での売上高は、84億80百万円(前年同四半期累計期間比30.5%増)、セグメント利益は、1億60百万円(前年同四半期累計期間比103.4%増)となりました。

(生活産業部)

輸入豚肉に関しましては、需要は回復しつつある中、新たな契約の成約もありました。しかしながら、市場の在庫過剰感、円安による為替の影響、中東における国際情勢からくる航路迂回等による入船遅延及び輸送コストの上昇が前事業年度から続いており、売上高・取扱数量ともに減少となりました。

この結果、当第3四半期累計期間での売上高は、5億29百万円(前年同四半期累計期間は74.9%減)、セグメント利益は、0百万円(前年同四半期累計期間はセグメント利益41百万円)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期累計期間の資産につきましては、主に売掛債権及び商品等の増加により前事業年度末に比べ8億48百万円増加し、85億16百万円となりました。

負債につきましては、仕入債務の増加及び新規借入により前事業年度末に比べ7億25百万円増加し、77億6百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純利益の計上等により前事業年度末に比べ1億22百万円増加し、8億10百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の通期業績予想については、2023年11月14日に公表いたしました予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	673,149	1,079,994
受取手形及び売掛金	4,230,175	4,812,663
電子記録債権	9,270	9,935
商品	1,367,505	1,451,140
その他	790,760	567,716
流動資産合計	7,070,860	7,921,451
固定資産		
有形固定資産	222,030	218,331
無形固定資産	2,859	3,047
投資その他の資産	372,942	374,111
固定資産合計	597,832	595,491
資産合計	7,668,693	8,516,942
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	866,085	1,386,084
短期借入金	5,771,564	5,968,131
未払費用	165,258	155,476
その他	34,385	47,403
流動負債合計	6,837,293	7,557,095
固定負債		
退職給付引当金	102,601	106,182
その他	40,748	43,320
固定負債合計	143,350	149,502
負債合計	6,980,644	7,706,597
純資産の部		
株主資本		
資本金	257,792	257,792
資本剰余金	157,792	157,792
利益剰余金	246,914	359,114
自己株式	△969	△969
株主資本合計	661,530	773,730
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	11,679	17,709
評価・換算差額等合計	11,679	17,709
新株予約権	14,839	18,903
純資産合計	688,049	810,344
負債純資産合計	7,668,693	8,516,942

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
売上高	14,704,044	14,083,383
売上原価	14,275,589	13,530,802
売上総利益	428,455	552,580
販売費及び一般管理費	330,181	365,294
営業利益	98,273	187,285
営業外収益		
受取賃貸料	8,503	9,991
為替差益	1,763	947
保険解約返戻金	1,050	—
その他	1,091	952
営業外収益合計	12,408	11,891
営業外費用		
支払利息	40,584	46,862
その他	7,271	7,048
営業外費用合計	47,855	53,910
経常利益	62,826	145,266
税引前四半期純利益	62,826	145,266
法人税、住民税及び事業税	15,125	33,478
法人税等還付税額	—	△322
法人税等調整額	843	△90
法人税等合計	15,969	33,065
四半期純利益	46,857	112,200

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	5,645千円	5,841千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	食料部	営業開拓部	生活産業部	調整額 (注) 1	四半期損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	6,095,455	6,494,811	2,113,777	—	14,704,044
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,095,455	6,494,811	2,113,777	—	14,704,044
セグメント利益	86,875	78,824	41,103	△108,530	98,273

(注) 1. セグメント利益の調整額△108,530千円は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
2. セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	食料部	営業開拓部	生活産業部	調整額 (注) 1	四半期損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	5,073,499	8,480,312	529,571	—	14,083,383
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,073,499	8,480,312	529,571	—	14,083,383
セグメント利益	135,259	160,312	334	△108,621	187,285

(注) 1. セグメント利益の調整額△108,621千円は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
2. セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。